PACHINKO/PACHISLOT LIFE IMPROVEMENT COMMITTEE

パチンコ・パチスロ 生活向上委員会

せいかつ・こうじょう・いいんかい

Vol.12

「岐阜レトロミュージアム」

岐阜県山県市椎倉323

温故知新

ワクワクしたあの時代を思いだし、今のパチンコを楽しみたい

時代とともにパチンコも進化していく。昭和の時代から長く親しんだパチンコファンに募るのは、あの頃の名機の懐かしさだ。もう一度打ちたい……そんな思いがかなえられる場を発見した。

訪れたのは岐阜県の山県市。倉庫風の建物の入り口にはブリキの看板、駄菓子屋の前によくあった遊具、かつて人気だったセミドロップハンドルのジュニアスポーツ自転車などが展示。中に入っても駄菓子、おもちゃ、ゲーム機など40～50歳代なら誰もが懐かしいと感じる風景が広がる。右側のドアを抜けると、うどん、そば、ハンバーガーなどの自販機。数年前から話題のいわゆるオートレストランというやつで、これも懐かしい。そして左側の扉の奥がパチンコのコーナー。コーナーというよりもズバリ、昭和中期のパチンコホールが再現されたものだ。

これらの古いパチンコ台は、コレクターだった杉本勇治館長が20年ほど前から収集してきたもので「古い台が撤去されるということは、それが好きだった人たちの楽しみがなくなるということ。打てる環境をなんとか残したい」という思いから、ミュージアムを設立。パチンコ以外はどちらかといえば、経営を安定させるための要素だという。実際に打ってみると、その思いはヒシヒシと伝わってくる。チューリップ台、羽根モノ、一発台、初期のフィーバー機と最もパチンコ台が盛り上がっていた頃の名機が揃っているだけでなく、バネの調子や役モノの動きが非常に良い状態に保ってある。まったこれは当時を知る記者だからこそ感じたのだが、雰囲気や匂いもあの頃と同じなような…。

杉本勇治館長

あの頃の心地よい雰囲気を次の世代に伝えたい

それもそのはず、パチンココーナーは撤退したホールからシマごと買い取って設置したそうだ。そして何と言っても、ドル箱に玉を移す楽しみがあるのが良い。古いパチンコ台を打つだけならゲームセンターでも可能だが、実際に玉は出てこない。玉を出してのの遊技で営業許可をとるのは非常に難しい。だが、それができなければ〝昭和パチンコの再現〟ではないと杉本館長はこだわり、様々な条件をようやくクリアし実現させた。その結果、実際に玉を出して古い機種で遊べる唯一の場として存在感を放つことになった。毎日のように故障する古い台に対し、時には自ら型を起こしパーツを製造するなど、以後も目に見えない努力を続けている。そんな話を聞けば聞くほど、喜びはひとしおだ。

「あの時の心地よい雰囲気や匂いを次の世代にも伝えたかった」

確かにあの頃、子連れでパチンコを打っている光景は珍しくなかった。そんな要素を含め誰もが親しんだ大衆娯楽のパチンコが再現されており、さらに〝打ちたかったけど打てなかった〟パチンコが、ここなら子どもも打つことができる。あの頃より魅力はむしろ増しているのだ。杉本館長によればターゲットは当初、懐かしさで打ちに来る層だったそうだが、取材の日訪れていた客はほぼ20歳代。昭和レトロへの興味、パチンコ好きが高じて歴史に触れてみたい、という来館理由は思いつくが、その中のひとりに聞いてみると「親がかつてパチンコ好きだったことは聞いていた。その時代に自分も浸ってみて、体験動画を見せながら話がしたい」。異なる世代間でのコミュニケーション創出のアイテムとしても、価値を持っているのだ。

杉本館長は「パチンコは日本人向きの日本独自の文化で、今後も継承されていくべきもの。昔はチューリップ機から羽根モノ、フィーバー機と予算に応じ誰もが遊べるようバランスがとれていた。その良さを失うことなく進化し続けて欲しい」という思いも同時にあり、ミュージアムを末来永劫残していきたいという。なぜパチンコが愛されたのか、ここで実感した上で今の進化したパチンコを打つのも楽しそうだ。

パチンコ・パチスロ生活向上委員会とは

日常から離れ、リラックスできる空間――そんなパチンコ・パチスロの魅力を伝えるため、パチンコメーカーで構成される日本遊技機工業組合が開設した。

ホールのアイドルを探せ!!

その素顔に迫る

えりんこさん

ZENT可児店

岐阜県可児市坂戸字石田399番地

AGE：ヒミツ

ホールで働くきっかけ：接客が楽しくて、２年前にアルバイトから正社員へ。

好きな機種：エヴァンゲリオンシリーズ（アニメ推しで）。

メッセージ：会いに来てくれたら、地元のおいしいグルメたくさん紹介します！

えりんこさんのツイッターはこちら➡@ZENTkani

東海地方トップクラスとの噂を聞いてホールを訪れると、平日の昼間だというのに駐車場は満車状態。彼女が原因？　と期待を膨らませ実際に会ってみたら、期待以上に魅力を感じた。〝ヒミツ〟という言われたもののどうしても知りたくて聞き出した実年齢を全く感じさせない、まさに〝永遠のアイドル〟。

容姿だけでなく性格も良く、成本憲治店長が「お客さまとのコミュニケーション力も高い彼女は適任」と、ツイッターの主役に抜擢したのも頷ける。自身はSNSに興味がなく、何を投稿すれば良いのか最初は戸惑いもあったようだが、やはりそこは天性の素質があったのだろう。素のままの対応がファンを惹きつけ、フォロワー数は一気に上昇。「ツイッターを見てお客さまが話しかけてくれるのがうれしい」と、今ではむしろ意欲的だ。この状況に店長も「全国にZENTの名前が広まり、お客さまも増えて大満足」と笑顔。

やはりこの日の盛況は、彼女の力か。

マンガ「ぱちLOVE!～日向まつりの情熱編～」（全5話）

最終話配信中!

最終話のテーマは「パチンコの経済効果」

架空のホール「EVER西浦店」を舞台にパチンコを愛する主人公「日向（ひなた）まつり」が店長や同僚と様々な課題に取り組む熱血ストーリー。ハラハラ・ドキドキしながら、パチンコ業界の様々な取組を知ることができるので、初見の方は、ぜひ第１話からご覧ください！

https://pachi-life-up.com/comic/ ▶

パチンコ・パチスロホール＆アイドル店員、情報募集中

「オレの町の話題のホール」、「アイドル店員。この店のあの娘を推したい」、また、「うちのココが他店とは違う。自慢できるセールスポイントはこれ」、「ぜひウチのアイドル店員を紹介したい」など、情報を募集中です。●問い合わせ＝弊社「PP生活向上委員会事務局」gendai@nk-gendai.co.jp（右QRコード）まで。

次回掲載は5月2日予定です

過去の掲載はこちらで読めます https://www.nikkoso.jp